



な現場

～若手技術者の紹介～

松岡建設株式会社

現場代理人

樋口 友弥



平成28年度 木曾川鍋田上水門基盤整備工事

～地域を守る 地震に強い地盤を作る～

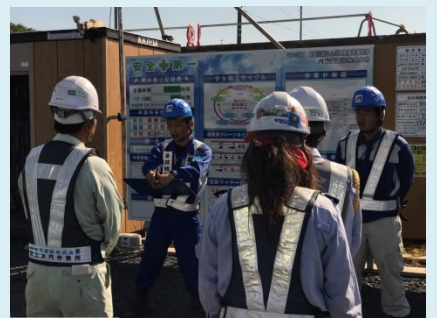
発注者：木曾川下流河川事務所 受注者：松岡建設株式会社

職業を建設業に選んだ理由

私が建設業を選択した理由は、道路や橋などスケールの大きさに魅力を感じ、そのようなモノづくりに携わりたいと考え、また、モノづくりを通じて社会基盤を支える仕事をしたいと思った事がきっかけでした。

仕事のやりがい

建設業は、モノづくりを通じて人々の生活を豊かにするだけでなく、地域のインフラ整備など、人々が快適に生活できる担い手であります。また、豪雨、大雪、大地震などの災害時には最前線で安全、安心の確保を担う地域の守り手でもあります。右の写真は、大雪時におけるスタック車両を救助している状況です。このようにさまざまな角度から地域経済や国民生活の社会基盤を支える大きな役割を担っています。そして、その役割を果たす達成感、建設業でしか味わえることができません。



◇朝礼



◇過去の工事における大雪時の対応

液状化を防ぐ工事を行っています

平成28年度木曾川鍋田上水門基盤整備工事 工期 平成29年3月3日から平成29年10月13日まで



地盤改良工
(改良径 9700)

SAVE-CP 工法

ケーシングパイプを引き抜きながら排出した砂を、打ち戻しにより押し広げ締めると同時に周辺地盤も締める工法です



工程表

工事内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地盤改良工							
事前準備ボーリング							
準備工							

建設業への入職を希望する若者の皆様へ

さまざまな職業があり、さまざまなプラスのイメージやマイナスのイメージがあります。建設業は、社会の基盤を支えているにも関わらず、マイナスのイメージが大きく取り上げられているような気がします。また、近年の業界は若手の人材が不足しており、若手入職希望者の減少に歯止めをかける取組が行われています。こうして建設業界は変化していった中で、若手の人材は大変貴重であり、ベテラン技術者に直接指導してもらうことができ、活躍する舞台が整っている状態であります。そして、若い世代で建設業界を担うことは、他の職業に負けないフレッシュさがあり、さらに魅力的な職業となるのではないのでしょうか。